

変形性膝関節症は対する理学療法

関節機能障害の



講座コート R-261 合理的改善 如 逆算

するアプローチの極意

TKA術後アプローチ編

日 時:2025年2月 16日(日)10:00~16:00 2週間見逃し受講期間あり

会場: インターネット生ライブ中継

講 師: 石井 慎一郎 先生(国際医療福祉大学大学院)

対 象:PT・OT・ST・看護師(左記以外も受講可)

今、会員に なると 実質 7,900 円割引 ※永久保存版 PDF スライド付

 \supset 受講料:会員 $oldsymbol{9}$, $oldsymbol{8}$ $oldsymbol{0}$ $oldsymbol{0}$



回復後の患者さんの姿を思い描いて、いま必要なアプローチができていますかで



TKA術後の患者さんに生じる、痛みや可動域制限に対して、一辺倒なアプローチを繰り返していませんか?実は患者個々に 術前の変形の重症度や症状が異なる膝OAでは、関節の負担や術後のアライメントから逆算して、合理的に改善を目指すのが 回復の近道。この講座では、エキスパート石井先生が、改善につなげるための、機能障害に対するエクササイズと動作アプロー チについて、動画・実演で実践を教えてくれます。諦めかけていたTKA術後アプローチを、今こそ見直してみませんか?

これぞ専門家!TKA術後の評価・アプローチの極意がここにある

- ・臨床動作分析の基本的思考プロセス〜仮説の立案と検証〜
- ・術前後のアライメント変化からの逆算!

関節機能障害を見極める

半月板の可動性評価とモビライゼーションの実際

- ・TKA 後の可動域改善はここがポイント! PCL と rollback motion
- OKC と CKC の違いは荷重ではない!?四角形と3つのリンクで理解するスクワットとフォアランジ
- ・合理的改善から逆算するTKA 術後の歩行アプローチ~3 つのバイオメカニクス~
- ・TKA の緩みを逆算して予防する軟部組織アプローチと回旋動作の誘導
- ・代償を見抜く!正しい patella setting のやり方と効果的な自主トレの実施







ほか

全2講座 シリーズ 受講もできます



1月19_日(日) 保存療法編 クーポン 2回まとめて 2,000円分 申し込むと プレゼント! _{会員のみ} 30名 限定

各講座の詳細は HP をご覧下さい



※これらの各講座は離床アドバイザー取得コースの理論1単位・学会認定資格更新10ポイントを取得することができます

受講方法

① ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索





臨床を元気に!日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラーレルビル2F